

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の評価に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項に基づく設計図書の照査を行い、必要に応じて工事監督員の確認を受けて施工を行っている。(土木工事の場合、起工測量を含む。)</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 施工計画書(施工計画書不要の場合は現場組織表等)が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質を証明する資料の整理及び確認がなされ、管理されている。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 品質管理体制が確立され、有効に機能している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 段階確認等の手続きを事前に行い、適時、的確になされている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及び建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図等を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整理に工夫がみられる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準を作成し管理していることが確認できる。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適正に処理されている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<p>確 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満・・・・・・・・ b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満・・・・・・・・ c</p> <p>該当項目が 60%未満・・・・・・・・ d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/> ※土	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b2に該当しない。	<input type="checkbox"/> 合格ではあるが、c評価より劣る場合。		
		<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、そのばらつきが施工管理基準値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、そのばらつきが施工管理基準値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 合格ではあるが、c評価より劣る場合。			
	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき適正に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、工事監督員と協議のうえで管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>						<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  <input type="checkbox"/>	
		<p>① 出来形の評定は、工事全般を通したものとす。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状寸法である。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木(農業土木)工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。</p> <p>④ ばらつきの考え方は別図参照。</p> <p>⑤ 出来形管理が無い、又は軽微な出来形管理の場合は「b」評価以下とする。</p>						上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部分等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>				<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; display: flex; align-items: center;"> <span style="flex: 1; border: 1px solid black;"></span> / <span style="flex: 1; border: 1px solid black;"></span> = <span style="flex: 1; border: 1px solid black;"></span> % </div>						
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p> </div>						

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度出来形管理図及び出来形管理表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば... d</p> <p>上記該当事項があれば... e</p>		
		<p>_____ / _____ = _____ %</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。  ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)</p>						

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打継ぎ対策を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<p>□ / □ = □ %</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。          ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	<p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>	

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	海岸工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… a' 該当項目が 70%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%以上70%未満…………… b' 該当項目が 50%以上60%未満…………… c 該当項目が 50%未満…………… d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	土工事(盛土・築堤工事等)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
							上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)			



### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸、根固、水制工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滲水等は、排除して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> = <input type="checkbox"/> %	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>	
						<p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>上記該当事項があれば・・・ e</p>	

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに制作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調製を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
II. 品質	工場製作 <input type="checkbox"/>							
	架設関係							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由: <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span></p>						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\boxed{\phantom{00}} / \boxed{\phantom{00}} = \boxed{\phantom{00}}\%$			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。            ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)         </div>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの種類及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(兼中及び兼中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	砂防築造工事	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)</p> </div>				
							上記該当事項があれば... d	上記該当事項があれば... e

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	地すべり防止工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの種類及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(兼中及び兼中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> <li><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)						上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	舗装工事  <input type="checkbox"/>	<p>〔評価対象項目〕</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕様書等に準じた路盤の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕様書等に準じたアスファルトの施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
	路盤・路床工事関係							
	アスファルト舗装関係							
	コンクリート舗装関係							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> チェア及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p>						
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>	<p>□ / □ = □ %</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
II. 品質	共通							
	種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係							
	コンクリート又はモルタル吹付工関係							



### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	現場打法枠工関係(プレキャスト枠工含む)	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\square / \square = \square \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	杭関係(コンクリート鋼管・鋼管井筒・現場打・深基礎等)          地盤改良関係	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)						

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。            ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)         </div>				

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	塗装工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> クレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d				$\frac{\quad}{\quad} = \quad\%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)	

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据え付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<p>□ / □ = □ %</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。  ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵(網)・標識・区画線工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d				$\frac{\square}{\square} = \square\%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)	

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御装置について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、鋼管頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるような工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険個所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)				



### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 6項目以上..... a 該当項目が 5項目..... a' 該当項目が 4項目..... b 該当項目が 3項目..... b' 該当項目が 2項目以下..... c				注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<p>□ / □ = □ %</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。          ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。 <input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度よく平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む) <input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
II. 品質	共通							
	浚渫・床掘関係							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	地盤改良関係	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> 改良材料の管理記録が整備され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ベーバードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベーバードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:						
	マット、捨石及び均し関係							
	本体:杭及び矢板、控工関係	<input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。						

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	<p>本体:ケーソン据付、ブロック据付関係</p> <p>コンクリート関係</p>	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び修補痕がなく施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたり規程の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p>						

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋(PC鋼材含む)の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スパースーを適切に配置し、鉄筋の被りを確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\square}{\square} = \square\%$		① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事(地盤改良工事含む)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土捨場に制約がなく、深堀しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
							上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事(地盤改良工事含む)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ベーバードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベーバードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\text{□}}{\text{□}} = \text{□} \%$		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。            ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)         </div>			



### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	ブロック製作工事(ケーソン陸上製作工事を含む)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/> コンクリート関係	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋(PC鋼材含む)の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースーを適切に配置し、鉄筋の被り確保している。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	<p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>								

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; height: 100px;"></div> </div>				<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <input style="width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;" type="text"/> / <input style="width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;" type="text"/> = <input style="width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;" type="text"/> % </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p> </div>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	修繕工事(橋脚補強、耐震補、落橋防止等)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 6項目以上..... a          該当項目が 5項目..... a'          該当項目が 4項目..... b          該当項目が 3項目..... b'          該当項目が 2項目以下..... c</p>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
						<p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。          ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	補強土壁	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>  コンクリート構造物を有する場合に適用	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 壁面材、補強材について、仕様書等で定めている品質管理が実施され、材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 盛土材料の粒度等の品質管理が適切になされ、試験値により確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が水平、かつ平準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 補強材が水平、かつたるみや極端な凹凸なく敷設されており、ピンや土盛りなどにより、適宜固定されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土材料の敷き均し(壁面側より壁面に平行等)、締め固め(巻出し厚、壁面直近の人力転圧等)が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 壁面工の鉛直度等が適切に管理され、壁面変位が少なく、直線性がよい。 <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製は4枚以内の積置き)、補強材(シート覆い)等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>				<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>		
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>				<p>上記該当事項があれば・・・ d</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>		
		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; display: inline-block;"></span> / <span style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; display: inline-block;"></span> = <span style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; display: inline-block;"></span> % </div>				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p> </div>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	漁場工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋の破りを確保している。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	共通  コンクリート関係						<input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ d  <input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ e	

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	漁場工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	組立関係	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の資格確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 薬礁の破損がなく組立されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 薬礁が適確に組立されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p>						
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>	<p>□ / □ = □ %</p>			<p>① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁補修(ひび割れ補修・断面修復工事)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 適切な材料を使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工前に、クラックを中心にワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で表面の汚れ、付着物等を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を理解したうえで天候等現場状況を確認し、気温・湿度等の計測を行い作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主剤と硬化剤の攪拌、配合や可使時間が適切に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器具を所定の間隔でひび割れの中心に設置し、シール材の硬化時間を確認してから、注入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ表面をシール材で確実に閉塞しており、注入にあたって注入材の漏れ、ダレがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器、シール材、コンクリート表面に付着した注入材等をワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で完全に除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高圧洗浄水等で洗浄し、施工面に付着物等が無く清掃されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度、コンクリート表面の水分量等の施工条件を管理し、適切な条件下で塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 規程の回数で塗布されており、空缶管理等により、基準塗布厚を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を十分に理解し、塗布した箇所を適切に管理し、塗り抜け無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗布後の養生が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 健全部に損傷を与えないよう不良部を完全に撤去し、ブラシ、若しくはエアアワー等ではつり面の清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 発錆している鉄筋の裏側まではつり取り、鉄筋の錆を完全に除去後、速やかに防錆剤を塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 攪拌、配合が適正に管理され、使用材料に適した可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 断面補修材の強度試験等を実施していることが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 1回あたりの施工厚は、材料特性を確認し規定の厚さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	ひび割れ補修工						表面含浸・塗装工	断面修復工

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	二次製品水路工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 二次製品の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削面に崩壊・過掘が無く、施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土・埋戻の施工にあたり、締固め(まき出し・転圧)が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み・据付方法は仕様書どおりに施工されているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み・据付の際に、十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタル・敷モルタルが仕様書等のとおり適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 製品の継目部には隙間・ズレがなく、適切に施工されている。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	構造物工	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	その他								
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d				$\frac{\square}{\square} = \square\%$		① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が47項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)	



### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 畦畔・道路法面・用排水法面に、クラックや損傷部がない。又は損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 基盤切盛が良好な排水状態を維持するなど適切に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 表土厚さ・客土厚さが適切に確保され、石レキや雑物の混入も少なく、均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔及び盛土部が十分に締固められている。 <input type="checkbox"/> 畦畔の通り及び畦畔の勾配が図面どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固めが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 敷砂利等が均等で平坦性が良好である。 <input type="checkbox"/> 道路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の接合が適切であり、埋め戻しについては仕様書等に示された条件どおり締固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 排水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既存施設や付帯構造物との取合せがスムーズに実施できている。 <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊・過掘りが無く、施工基面が平滑に仕上げられるとともに、埋戻しの締固め(撒き出し・転圧)が適正に出来ている。 <input type="checkbox"/> 管水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・空気弁等の設置位置及び接合が、図面・仕様書どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> パイプ等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 湧水試験等が適切に行われ、許容範囲内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
II. 品質	共通  整地工  道路工  排水路工  管水路工  構造物工							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	揚水機場・サイホン 暗渠排水工 その他	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ポンプ及び電動機の能力が仕様書等で定められている能力以上の製品であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ポンプ及びサイホンの廻り配管は図面等で定められている機能が発揮できる配管であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水管等が適正な勾配で設置され、被覆材に雑物等の混入も無く、仕様書どおり実施されている。 <input type="checkbox"/> 表土戻しが適切に施工され、周囲との段差も無い。 <input type="checkbox"/> その他理由：						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\square / \square = \square \%$	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)				



### 工事成績評定の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	管水路工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	揚水機場・サイホン 水管橋 その他	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> ポンプ及び電動機の能力が仕様書等で定められている能力以上の製品であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ポンプ及びサイホンの廻り配管は図面等で定められている機能が発揮できる配管であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管および空気弁等の施工位置・施工高さが、図面どおりに施工されているのが出来高図等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 水管橋の材料が品質証明書と同じであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の理由:						
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\text{□}}{\text{□}} = \text{□} \%$			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)		

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	公園工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 掘削法面が図面どおりに施工されるとともに崩壊が無く、施工基面は過掘が無く平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 盛土面及び切土面の施工は、クラックや損傷部が無く平滑に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 護岸等の根入が図面どおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切に施行されている。 <input type="checkbox"/> 護岸工の施工にあたり水密性が適切に確保できている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類・品質が仕様書等に記載されている品物であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷がなく、保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装等で、設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 東屋及び木材製品で、材料・部品の品質形状が設計図書等との適切性が確認でき、書類が整備されている。 <input type="checkbox"/> 石材工等で、材料・部品の品質形状が設計図書等との適切性が確認でき、書類が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)			

### 工事成績評定の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
3. 出来形及び出来ばえ	ため池工事	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を講じており、常に、気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎基盤の整形・清掃・湧水処理、及び段切り等が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 固化材による地盤改良において、指定材料及び使用量が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 固化材による地盤改良において、支持力・改良深・攪拌状態が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土材料は、所定の土質試験を実施し盛土材料として使用できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 発注者が設計図書にて使用を指定したものを除き、現場に搬入された盛土材料が、工事監督員が承認したものと同等(現場土質試験)であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土材料は根株・石等有害物の除去状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面及び法面が平滑に仕上げられるとともに、法面に有害な亀裂が無いこと、並びに、筋芝または種子吹付等の施工がある場合には適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 堤体盛土の締固めが適切に施工され、締固め密度や透湿度、含水比等の必要項目について管理基準値を満足している。 <input type="checkbox"/> 両袖部の地山との取付が適切に施工されているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> グラウト工が適切に実施されていることが工事書類等により確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認出来るとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
II. 品質	共通								
	堤体工								
	構造物工								

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	ため池工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	取水施設	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 水門・バルブ等の施設機械が仕様書等の品質及び仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水門・バルブ等の据付の際に、十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 押え盛土または堤体改良において、締固めが適切に施工され、締固め密度や含水比も管理基準値を満足している。 <input type="checkbox"/> 盛土材に混合する固化材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。							
	耐震工(押え盛土・堤体改良)	<input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:							
	その他	<input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:							
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a'</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b'</p> <p>該当項目が 50%以上60%未満..... c</p> <p>該当項目が 50%未満..... d</p>							
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>							
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p> </div>							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	水路補修工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の空袋管理が、写真等で確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況を良く把握して、適切な対策を施していることが写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時に湧水や雨水の排水対策を講じており、現場条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工手順に沿った適切な施工が行われていることが工事書類等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 部材の洗浄・下地処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工前の状態(乾燥等)及び練り混ぜたモルタルの可使時間や養生が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 補修材が当該既設構造物へしっかりと密着(既定の付着強度等をクリアされている)されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地補修が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ補修が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工全体にむらがなく、流れ、はがれ、浮き、ひび割れ、硬化不良等がない。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… a' 該当項目が 70%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%以上70%未満…………… b' 該当項目が 50%以上60%未満…………… c 該当項目が 50%未満…………… d	$\frac{\quad}{\quad} = \quad\% $ ① 当該「評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)					



### 工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	水道施設工事(配管)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 管・弁類等資材は、品質及び形状等について設計図書との適切性が確認でき、証明書を整備も良好である。 <input type="checkbox"/> 資材の管理・運搬・吊り込み・据付等において、キズ・損傷の予防や衛生管理等に対する措置が良好である。 <input type="checkbox"/> 掘削・埋戻し等は、設計図書等に基づき適切かつ良好に行われており、写真等内容確認資料の整備も良好である。 <input type="checkbox"/> 管の腐食・電食・損傷等についての予防保全が配慮された適切な施工管理が行われており、写真等内容確認資料の整備も良好である。 <input type="checkbox"/> 弁検査の据え付けは、垂直に、かつ、レジンコンクリート製の場合は、水密に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕切弁、消火栓、空気弁等の設置が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 給水装置の施工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装(コンクリート)の空隙がなく適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ダクタイル鋳鉄管等:チェックシート等により接合結果の内容が確認でき、他の模範とほるような施工管理がなされている。 <input type="checkbox"/> ダクタイル鋳鉄管等:配管技能者は、豊富な経験と技術を有しており、継ぎ手の性質、構造及び接合の要領等について熟知している。 <input type="checkbox"/> 鋼管:溶接管理が設計図書等のとおり実施され、検査において第2種以上の欠陥がなく、資料の整理も良好である。 <input type="checkbox"/> 鋼管:溶接士は、鋼管溶接に最も適する技能と実務経験を有している。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):設計図書に規定する管渠勾配が、確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):設計図書に規定する管渠法線が、確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):推進法線上の地盤沈下について、沈下量の管理を行い最小限の沈下にとどめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):推進推力について、管理を行い予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):管の目地には、予定以上の開きの無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(本体):推進工法による地中への空隙発生の有無について、常に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(薬液注入工):工事着手前に工法確認を受けてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工(薬液注入工):設計図書で規定した範囲の改良について、予定どおりの改良効果が確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	ダクタイル鋳鉄管等						上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
	鋼管							
	推進工(本体)							
	推進工(薬液注入工)							

### 工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	水道施設工事(配管)	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない				
II. 品質	<input type="checkbox"/>  推進工(裏込注入工)	[評価対象項目] <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 推進工(薬液注入工):周辺の構造物や地盤に影響を与えていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(薬液注入工):周辺の河川および井戸等について影響を与えていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(薬液注入工):注入圧力の記録紙(チャート紙)は、発注者の検印のあるものを用い切断せずに1ロール使用ごとに提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(裏込注入工):裏込注入工は、設計図書に既定する企画を満足し事前に確認を受けていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(裏込注入工):裏込注入工は、設計図書どおり確実に実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(仮設工):ケーシング立坑周辺の地盤に沈下等の影響を与えていないことが現場や写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(仮設工):ケーシング立坑によるケーシング材料は設計図書で規定した径、寸法、厚さが写真で確認でき、規定の圧入深や引抜長を満足し、適正な施工で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(仮設工):設計図書で規程した場合について、規程した品質・規格以上の仮設材料(土留・支保材等)を使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(仮設工):設計図書で規程した場合について、規程した仮設の配置(立坑の大きさ・切梁の配置等)を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工(仮設工):設計図書で仮設材の残量を規程した場合について、規程した数量以上や規格外の仮設材の残置を行っていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他理由:</li> </ul>								
	推進工(仮設工)									
共通										
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... a' 該当項目が 70%以上80%未満..... b 該当項目が 60%以上70%未満..... b' 該当項目が 50%以上60%未満..... c 該当項目が 50%未満..... d	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、~50%:c、~0%:d)					

### 工事成績評定の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事 または合併工事 <input type="checkbox"/>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質	共通	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。  上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。  上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a				<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %			
		該当項目が 80%以上90%未満..... a'							
		該当項目が 70%以上80%未満..... b							
		該当項目が 60%以上70%未満..... b'							
		該当項目が 50%以上60%未満..... c							
		該当項目が 50%未満..... d							

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。  
③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合は最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)